

# だっこするよ

2022年5月

社会福祉法人茂原高師保育園  
北区立赤羽台保育園  
園長 奥戸昌子



## 日本国憲法と保育

<ひよこ組 お散歩 ひだまりでのひととき >

草燃え、花々が咲き誇り、薫風さわやかな美しい5月がやって来ました。幼児組では、手作りの鯉のぼりが泳いでいます。5月には、憲法記念日、みどりの日、そしてこどもの日と祝日が続きます。世界中の子どもたちの今が幸せでありますようにと願うばかりです。

新入園児のお子さんも一ヶ月が過ぎて、少しずつ少しずつ周りの大人たちを信頼して手を伸ばしてくれます。初めての社会への一歩、不安な気持ちに、折り合いをつけて、気持ちを立て直して頑張ろうとする姿に感動します。必ず保育園は「昼間のおうち」になります。我が子の力を信じてもう少し見守ってくださいね。

連日のロシアのウクライナへの軍事侵攻のニュース、この侵略戦争の代償は計り知れず、長引く戦争の次にどんな世界が訪れるのだろうか、日本も他人事でないのでしょうか。新型コロナウイルスに始まり、予測不可能な時代、毎日の生活から子どもたちに手渡してあげたいものは何か…自分を大切にする力、人を信じる力だと思います。その為私たちが出来ることは、地味ですが一番強いこと…子どもたちを愛すること、家族を愛すること、愛情で育てることだと思います。樹木の根っここの部分です。見えない根っこに栄養を蓄えて、水を吸い上げ、そして深く根を張ることで、幹を支えます。枝葉が強風で折れてもまた新芽を出していく。根っここそが自己肯定感、その子の心の強さと言えると思います。

保育園は、憲法、そして児童福祉法のもとに運営されています。井上ひさしさんの「子どもに伝えたい日本国憲法」を紹介させてください。「絵本 憲法のこころ」-平和憲法が子どもに分かり易く書かれています。「前文」と「第九条」について、いわさきちひろさんの絵もとても素敵です。玄関に置いてあります。是非手に取ってお読みいただけると嬉しいです。

もう二度と戦争はしない(憲法9条)より 引用 26ページ～

私たちは、人間らしい生き方を尊ぶという まことの世界をまごころから願っている

人間らしく生きるための決まりを大切にする おだやかな世界をまっすぐに祈っている。

だから私たちは、どんななめごとが起こっても これまでのように 軍隊や武器の力で片付けてしまうやり方は選ばない  
殺したり、殺されたりするのは人間らしい生き方だとは考えられないからだ

どんな国も自分を守る為に 軍隊をもつことができる

けれども 私たちは 人間としての勇気をふるいおこして この国がつづくかぎり その立場を捨てることにした  
どんななめごとでも 筋道をたどってよく考えて ことばの力をつくせば かならずしずまと信じるからである。

よく考えられたことばこそ 私たちのほんとうの力なのだ

そのために 私たちは戦をする力をもたないことにする

また、国は闘うことができるという立場も認めないことにした

第二次世界大戦での大きな犠牲のもとに作られたこの国の在り方、施行から75年を迎えます。その前文は、「日本国民は・・・」という主語で始まります。国家権力を抑制して個人の自由を守るものです。憲法の三原則は、国民主権＝国の暮らしの在り方は国民が決めること、基本的人権の尊重＝誰もが人間らしく生きること、平和主義＝戦争を二度と繰返さないこと。日々の保育実践から、私たちも個人の尊厳、人間観や平和について学び、子どもも大人も一人一人が唯一無二のかけがえのない存在として大切にされる社会を築きたいものです。

さあ、ゴールデンウィーク、ご家族の時間をゆっくり楽しんでください。子どもの根っこを太らせましょう。